

勢いよくスタートする30キロマラソンの選手たち



北海道新聞

発行所
北海道新聞
釧路支社

〒080-8655
釧路市黒金町11丁目5番1号
報道部 電話 0154-31-3550

ホームページ
www.hokkaido-np.co.jp

湿原マラソン 記念新聞

道新スポーツ

初夏のコースを快走

第41回釧路湿原マラソン

19種目に4400人登録

今年も最多更新

第41回釧路湿原マラソン(釧路市、釧路陸協、北海道新聞社など主催)は28日、釧路市民陸上競技場を発着点に行われ、総勢4000人余りが、釧路湿原周辺のコースを思い思いのペースで駆け抜けました。

大会は30キロ、10キロ、3キロのマラソンと30キロ、15キロのウォークがあり、男女、年代別など19種目で実施されました。参加登録者はマラソンが3880人、ウォークが559人の合計4439人で、近年のマラソンブームを反映して今年も過去最多を更新。東京都など道

外のランナーも318人を数えました。

大会は開会式に先駆け、30キロウォークの参加者が午前6時にスタート。午前8時半からの開会式では8月の世界選手権(モスクワ)マラソン代表で30キロマラソンに招待された話題の公務員ランナー、川内優輝選手(埼玉県庁)が「全ての選手がそれぞれの目標を達成されることを祈っています」と選手を激励。「親子で走ろう」の部の越浦豊さん(38)、美紀さん(28)、勇斗君(9)、海斗君(7)が選手宣誓しました。



次々とゴールする3キロ小学3・4年の部の選手たち

天候は曇り。午前9時で気温25・1度と絶好のコンディション。30キロを皮切りにスタートしたマラソンの選手たちは、自身のベストを目指したり、夏の釧路湿原に楽しい思い出を刻もうと、懸命に足取りを進め、アイスホッケーの日本製紙クレインズの選手29人も3キロに出場して、レースを盛り上げました。

また、釧路市スポーツ少年団員ら約1000人もポランティアが給水や救護などを担当し、大会を支えました。

暮らしでトクする、サービス・特典いっぱい!

- 紙面に登場した読者の人物を招き講演会「ニュース運動講座」
- 道内各地で出張講座「ぶんぶん巡回文化教室」
- 道内外の大学などとの連携で学ぶ「ぶんぶん教養講座」
- 結婚や全道各地で「ぶんぶん映画鑑賞会」
- プロスポーツを前に体験「ファイターズ・コンサドーレ観戦招待」
- 自然や味覚を楽しむ旅「ぶんぶん特別ツアー」
- 道新ポケットブックをテキストに料理教室「いただきます!北海道」
- 会員登録でさまざまな割引・特典「加盟店サービス」
- 無料で、お気軽に生活便利相談「ぶんぶんコール」
- 道新と道新スポーツの掲載写真を割引提供「道新写真サービス」

道新ぶぶんぐらぶ

ぶんちゃん

入会費・年会費 無料

学ぶ 楽しむ 役に立つ

お問い合わせ先 北海道新聞 釧路支社内 道新ぶぶんぐらぶ(釧路)事務局 TEL080-8655 釧路市黒金町11-5 ☎(0154)31-2719 (平日9:30-17:30)



早朝の霧の中、足取りを進める30キロウォークの参加者―8キロ付近



選手宣誓する釧路市の越浦豊さん、妻の美紀さん、長男の勇斗君、二男の海斗君の親子

KUSHIRO SHITSUGEN MARATHON
釧路湿原マラソン

写真館



「頑張ってね」。ゼッケンをつけてもらう小学生



ゴールを目指し元気にスタートする3キロ小学5・6年の部の選手たち



入念に準備体操をする小学生



選手を激励し、世界陸上への抱負も述べた川内選手